



詳細・応募はこちら



相模原アクセラレーションプログラム2026 ご説明資料



1. 相模原市の取り組みのご紹介
2. 相模原アクセラレーションプログラム（SAP）のご説明
3. 応募方法のご案内
4. 質疑応答



相模原市のご説明

相模原市の概要

神奈川県北部に位置する、人口規模約72万人の政令指定都市。市内には中小～大手製造業の生産拠点・研究拠点が集積し、JAXA相模原キャンパスや大型のインキュベーション施設も立地。

まちがつながる、未来が広がる ～広域交流拠点へ～

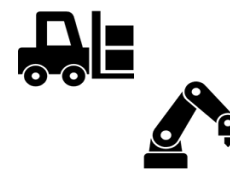
相模原市は首都圏の南西部に位置しており、東京都心から40km圏内にある、人口約72万の都市です。首都圏中央連絡自動車道(圏央道)が開通するとともにリニア中央新幹線(令和9年開業予定)が整備されるなど、さまざまなプロジェクトが進行中です。



人口
約**72万人**



事業所数
約**2.2万**



製造品出荷額
約**1.2兆円**



リニア中央新幹線神奈川県駅(仮称)が設置される橋本駅周辺の様子



製造業の集積



JAXA相模原キャンパス



インキュベーション施設
さがみはら産業創造センター

橋本駅周辺のまちづくり

橋本駅南口周辺 にリニア中央新幹線 神奈川県駅（仮称）を設置。
オープンノベーションが推進され、先端技術の集まるまちづくりを実施しています。



注）このイメージ図は、まちづくりガイドラインに記載の内容を踏まえて本地域の将来の土地利用をイメージしたものであり、施設配置や高さなど、具体的な開発計画に基づくものではありません。

Technology／くらしを変える先端技術の拠点となる

広域の産業・研究開発機能と連携する拠点を形成し、ロボットや航空宇宙、生活支援技術、ICT等の先端技術がそばにあるまちを目指します。

- ・学生、起業家、研究者等多様な人材の交流・結合を促進するなど、イノベーションが生まれる環境の形成
- ・地区内外での移動の利便性向上に向けた自動運転やAI等を活用した新たなモビリティサービスの導入を検討



Platform／新たな価値を創造する土壌がある

リニアがもたらす人々の交流や活動の圏域の拡大を生かし、まちに集まる多様な人々をつなぎ、出会いの連鎖を引き起こすことで新たな価値を創造します。

- ・「まちに関わる場」を形成し、橋本に住む人・働く人・学ぶ人・訪れる人が出会い、ともにまちを育てることで、橋本ならではの一步先の未来を実現
- ・エリアマネジメントの仕組みづくりを視野に入れ、パブリックスペースの良質な空間の管理・運営などには、民間事業者のノウハウの活用を図る。



各ゾーンの特徴と期待される波及効果

A 駅まち一体牽引ゾーン

多様な人々の往来を生かし、まちの顔として中心的な賑わいを形成し、駅を起点としたまちの利便性の向上と、駅とまちの一体感の醸成、まち全体へ賑わいを広げます。

想定される施設例

交通拠点、オフィス、商業、飲食、都市型居住など

B 複合都市機能ゾーン

子どもから高齢者まで様々な世代の活動を支える複合的な都市機能の導入を図り、働きやすさ、住みやすさ、過ごしやすさを兼ね備えた、橋本ならではのライフスタイルを実現します。

想定される施設例

オフィス、商業、飲食、福祉、医療、生活支援施設、コミュニティ施設、まちづくり活動拠点、都市型居住など

C 広域交流ゾーン

圏域全体の観光、物流、産業等に関する交流・発信機能や交通広場と連携した交通結節機能、広場機能の導入を図るとともに、まちの発展に合わせた様々なトライアルを実践し、まちの新たな魅力を創造します。

想定される施設例

交通拠点、イベントスペース、情報発信拠点、観光関連施設、商業、宿泊など

D ものづくり産業交流ゾーン

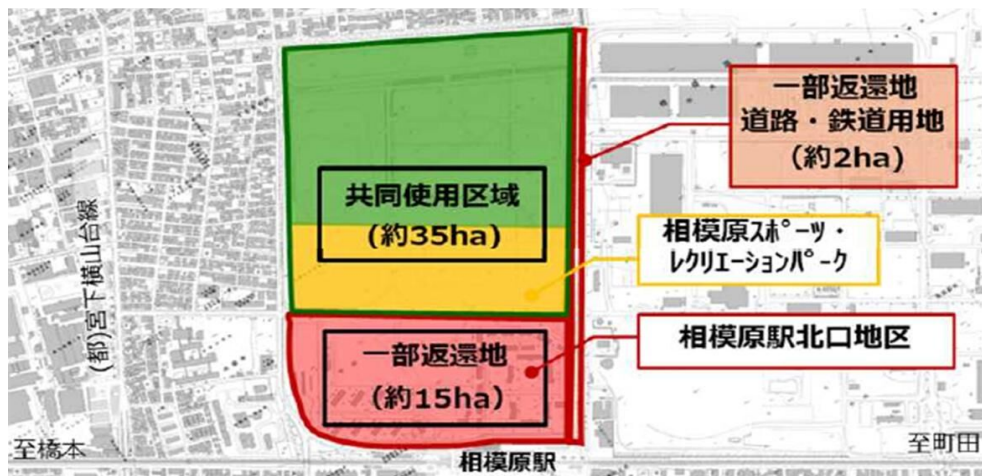
研究、インキュベーション、交流等の機能導入を図り、広域から高度人材が集まる交流・連携の拠点として、圏域内外のものづくり産業の更なる発展や新たな技術創造を牽引します。

想定される施設例

展示場・ホール、会議室、インキュベーション（起業支援）、コワーキングスペース、行政窓口、宿泊、地域産業促進の拠点、研究施設、教育施設など

相模原駅周辺のまちづくり

相模総合補給廠（在日アメリカ陸軍の補給施設）一部返還地を対象としたまちづくり。
「グリーン× ライフ× イノベーションシティ」をコンセプトに掲げ、業務、商業、居住複合的なまちづくりを推進。



土地利用のイメージ



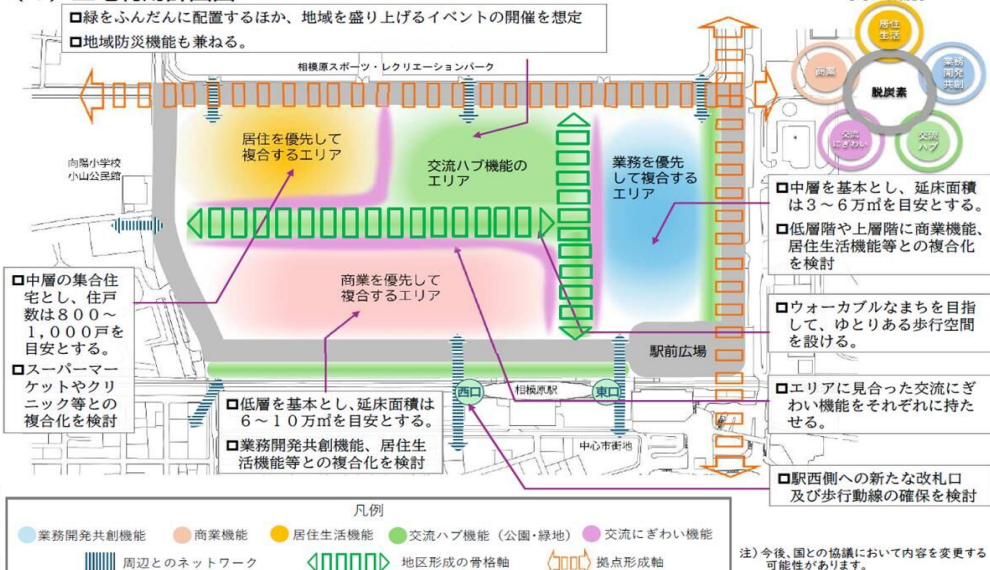
注）本地区の将来の土地利用のイメージを示したものであり、施設配置や高さなどについては、今後変更となる可能性があります。

まちづくりの基本方針

昼間人口の増加を目指す本市において、今後、人口減少が進む中でもにぎわいを保ち、持続的な発展を遂げるためには、企業等や働く人をまちに呼び込む必要があり、駅前にオフィスビルを配置するなど業務系の用途に重点を置いた土地利用を図ります。

- 5つの導入機能(業務開発共創、商業、居住生活、交流ハブ及び交流にぎわい)を適正に配置することに加え、施設用途の複合化によりまちのにぎわいや交流の創出を目指します。
- 企業等の進出と併せて先端技術の導入を図ることにより、多様な交流をうみだし、継続的にイノベーションが創出されるようなまちを目指します。
- 環境に配慮したまちづくりを行う中で、各街区をつなぐようにグリーンインフラとしての緑をふんだんに配置し、多様な交流の場として利用するほか、エネルギーを含めた脱炭素型まちづくりを目指します。
- ウォーカブルなまちを目指して、ゆとりある歩行空間を設けることや新たなモビリティの導入を検討することにより、生活利便性の向上、健康の増進及び安全・安心の確保を目指します。
- 周辺環境に配慮するとともに、ヒューマンスケールなまちとして、中低層・低密度のまちづくりを行うことにより、憩い・安らぎ及び生活の質の向上を目指します。

(4) 土地利用計画図



相模原駅周辺のまちづくり

相模原市内、リニア駅・橋本駅を中心とした半径約20km内の近隣地域※1や、さがみロボット産業特区区域は、研究・開発機能※2を有する企業の拠点が170所以上、70以上の大学、20を超える研究開発法人・試験機関が立地するポテンシャルの高いエリア。

人口
約**580万人**



R&D機能を持つ事業所
170以上



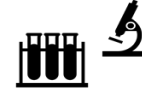
専門的・技術的人材
約**50万人以上**



大学
70以上



研究機関・試験機関
20以上



※1近隣地域：リニア駅・橋本駅を中心に、半径20km圏内の県央、多摩、横浜市・川崎市の一部

※2基準：売上高100億円以上の企業で、基礎研究や応用研究を実施していること、商品の設計・開発を行っていること、実証環境を有していることのいずれかに該当するものを対象とした（いずれも各社公表情報R7.10閲覧時点）

リニア駅・橋本駅

リニア駅・橋本駅を中心に半径20km圏内の多摩地域等+県央地域

（企業）IHI、オリンパス、カシオ、鹿島建設、キユービー、協和キリン、高速道路総合技術研究所、コニカミノルタ、GEヘルスケアジャパン、ジャムコ、スタンレー電気、帝人、鉄道総合技術研究所、デンカ、東京精密、東芝、日本水産、日本電子、長谷工コーポレーション、日立製作所、富士電機、ブリジストン、三井造船昭島研究所、三菱ケミカル、村田製作所、明治、ヤクルト
（大学・工専・研究機関・支援機関等）サレジオ工業高等専門学校、電気通信大学、東京科学大学、東京工業高等専門学校、東京都立大学、東京農工大学、宇宙航空研究開発機構（JAXA調布航空宇宙センター）、森林総合研究所等

（企業）アイダエンジニアリング、AESCジャパン、エスアールエル、SWCC、オハラ、カヤバ、スリーエムジャパンイノベーション、スリーボンド、大和製罐、デュプロ、東海旅客鉄道（FUN+TECH LABO）、東急建設、東プレ、ニコン、日本ゼットック、富士工業、マイクロンメモリジャパン、三菱重工
（大学・研究機関・支援機関等）青山学院大学、麻布大学、北里大学、相模女子大学、宇宙航空研究開発機構（JAXA相模原キャンパス）、陸上装備研究所、さがみはら産業創造センター等

さがみロボット産業特区

（企業）IJTT、旭ファイバーグラス、Astemo、azbil、アマダ、アルバック、アンリツ、いすゞ自動車、市光工業、NTT、荏原製作所、オイレ工業、河西工業、キヤノン、コナミ、小松製作所、JX金属、ソニー、電源開発、TOTO、東京応化工業、東ソー、トビー工業、日産自動車、日本精工、日本発条、フジタ、富士通、富士フイルムビジネスイノベーション、古河電工、ミネベアミツミ、森永乳業、横浜ゴム、リコー
（大学・研究機関・支援機関等）神奈川県衛生研究所、神奈川県産業技術総合研究所、神奈川工科大学等

※対象エリア内に立地する組織を一部抜粋
いずれも法人名は省略。表記は五十音順



リニア駅周辺まちづくりイノベーション戦略

リニア駅の設置並びに新たなまちづくりの動きを捉え、まちづくりにより実現する産業の姿とその方法を描いた産業ビジョンを令和7年に新たに策定。

ビジョン

プロダクトイノベーションを生み出すハブ拠点とイノベーションエコシステムを形成し、テクノロジーの社会実装によりワクワクするまちを創り、首都圏、日本中央回廊を繋ぐ「イノベーション・リンク」を形成する

I. Product Innovation Hub

- モノづくりの力でビジネスを「一歩先」へ

研究・開発・製造がワンストップで実現する「プロダクトイノベーション」の拠点となり、首都圏、日本中央回廊における、メーカー群のイノベーションハブの役割を担います。リニア駅・橋本駅周辺から、メーカーの新展開を促進する、「研究開発都市」への進化を目指します。

II. Innovation Ecosystem

- 共創でアイデアやチャレンジを「一歩先」へ

国内外の企業、研究者、スタートアップ等、様々な人が立場を超えてつながり、共創することで新たなチャレンジが促される基盤としての「エコシステム」を形成します。イノベーション創出に必要な様々な要素をリニア駅・橋本駅周辺に確立し、自立的・持続的なイノベーションエコシステムの構築を目指します。

III. Technology & Fun

- 先端技術の力で「一歩先」の未来へ

基礎研究、応用研究や様々なビジネスアイデア、技術シーズの受け皿となり、その成果をまちに展開することで、まち全体で技術の社会実装を推進します。先端技術が全国から集まり、イノベーションを体感できるワクワクするまちを目指します。

目標

【目標1】県央・多摩地域等と連携した、リニア駅周辺広域イノベーションバレーの形成

【目標2】事業開発・研究開発を促し、イノベーションエコシステムを形成

【目標3】グローバルなネットワークの確立と交流の場の形成

【目標4】イノベーション創出の文化とプライドの醸成

【目標5】リニア駅周辺を中心とした実証・実装プラットフォームの形成

【目標6】先端技術を有する企業の研究開発機能、研究機関、大学研究室の誘致・集積

戦略

戦略① 広域的な産官学のビジネスコミュニティ・ネットワークの形成

戦略② デジタル・ロボット、宇宙、モビリティ関連産業に係る研究開発・事業開発の推進

戦略③ 市内企業の新規事業開発、研究開発の活性化とオープンイノベーションの促進

戦略④ 県央・多摩地域等をはじめ、国内の大学・研究機関との連携強化、ネットワークの構築・拡大

戦略⑤ 技術系ベンチャー・スタートアップを始めとした、多様なスタートアップの創出と成長支援

戦略⑥ 海外の企業・大学・支援機関等との連携強化、ネットワークの構築・拡大

戦略⑦ 先端技術の地域実装と、まちづくりや市民へのフィードバックによるブランディングの推進

戦略⑧ 実証環境の拡大と実証エリア化の推進

戦略⑨ 事業開発・研究開発を促進するオフィスや研究施設等の立地・拡充推進

戦略⑩ デジタル・ロボット、宇宙、モビリティ産業を中心とした、企業・研究機関等の誘致・集積

施策

以下の既存事業に加え、ものづくり産業交流ゾーンへの、公共（県市連携）による研究開発拠点の整備の検討・可能性調査、民間開発事業者のオフィス等の業務施設の整備・設置や、立地に対する支援、宇宙産業に係る産業振興施策をはじめ、様々な施策の検討を予定



イノベーション創出促進拠点の運営



市内企業のオープンイノベーション型の研究開発・事業開発支援



スタートアップ支援プログラム



広域的スタートアップ支援ネットワークの形成と技術系ベンチャー支援



さがみロボット産業特区、ロボット企業交流拠点



神奈川県・相模原市・国立研究開発法人宇宙航空研究との3者連携協定の締結



京王電鉄によるビジネスアクセラレーターかながわへの橋本エリアオープンイノベーションプログラム「ROOOT」参加等



戸田建設・ロボットビジネス協議会によるロボットフレンドリー実証事業の実施

相模原市の産業政策

相模原市では、各種イノベーション政策を推進。

官民連携でスタートアップ/イノベーションエコシステムの形成を進めています。

本プログラム

相模原アクセラレーション プログラム



- ✓ **相模原市内に存在する多様な施設と連携した実証型支援**と伴走支援により、高い成長意識を持つ起業家やスタートアップ企業を創出するプログラム

広域スタートアップ支援 ネットワーク形成事業



- ✓ 橋本駅を中心に、県央・多摩地域におよぶ、広域的な支援ネットワークを形成
- ✓ 産官学金の支援プレイヤーによるコンソーシアムが設置され、スタートアップによる社会実装をエリア全体でサポート

オープンイノベーション プログラム



- ✓ **相模原市内企業と全国のパートナー企業2者**によるオープンイノベーション型の新事業開発プログラム

イノベーション 創出促進拠点運営事業



- ✓ 企業、スタートアップ、研究者等多様な人材の交流・結合を促すハブ拠点を形成し、生み出された様々なプロジェクトや**研究開発・新事業創出を推進する拠点**

市内に新たに本社や支店等を設置・移転するスタートアップ企業への補助金があります。

対象枠	共通要件	対象枠別要件	進出機能	対象経費※2	補助上限額
一般枠 市アクセラレーションプログラム採択者枠 本プログラム対象	・相模原市外の日本国内で法人登記、もしくは開業の届出を行って15年以内の企業等 ・これまで相模原市内に事業所を持たず、相模原市外の日本国内で開業・法人登記をしており、新たに、相模原市内に事業所を設置した中小企業等	対象産業※1に該当する企業等 申請当該年度に新たに市アクセラレーションプログラムの採択を受けた企業等	・営業機能 ・本社機能 ・研究開発機能 ・生産機能	①賃料 事業所の賃貸借契約に基づく賃料 ②事業所整備費 賃借する事業所の整備（改修等）に係る費用 ③外注加工費 補助金交付対象となる事業に関する外注加工費 ④販売促進費・広告宣伝費 補助金交付対象となる事業に関する販売促進費・広告宣伝費	最大120万円 （①補助率最大10/10、②～④補助率最大1/2）

【これまでの利用企業（いずれもR5年度に利用）】



進出企業名：株式会社Safamii
業種：情報通信業
事業概要：行動変容を促すウェルビーイングアプリの開発



進出企業名：株式会社Vanwaves
業種：その他製造業、サービス業、宿泊業等
事業概要：自宅等で利用可能なサウナキットの開発

【補助金詳細（市HP）】

相模原市ベンチャー・スタートアップ企業進出補助金



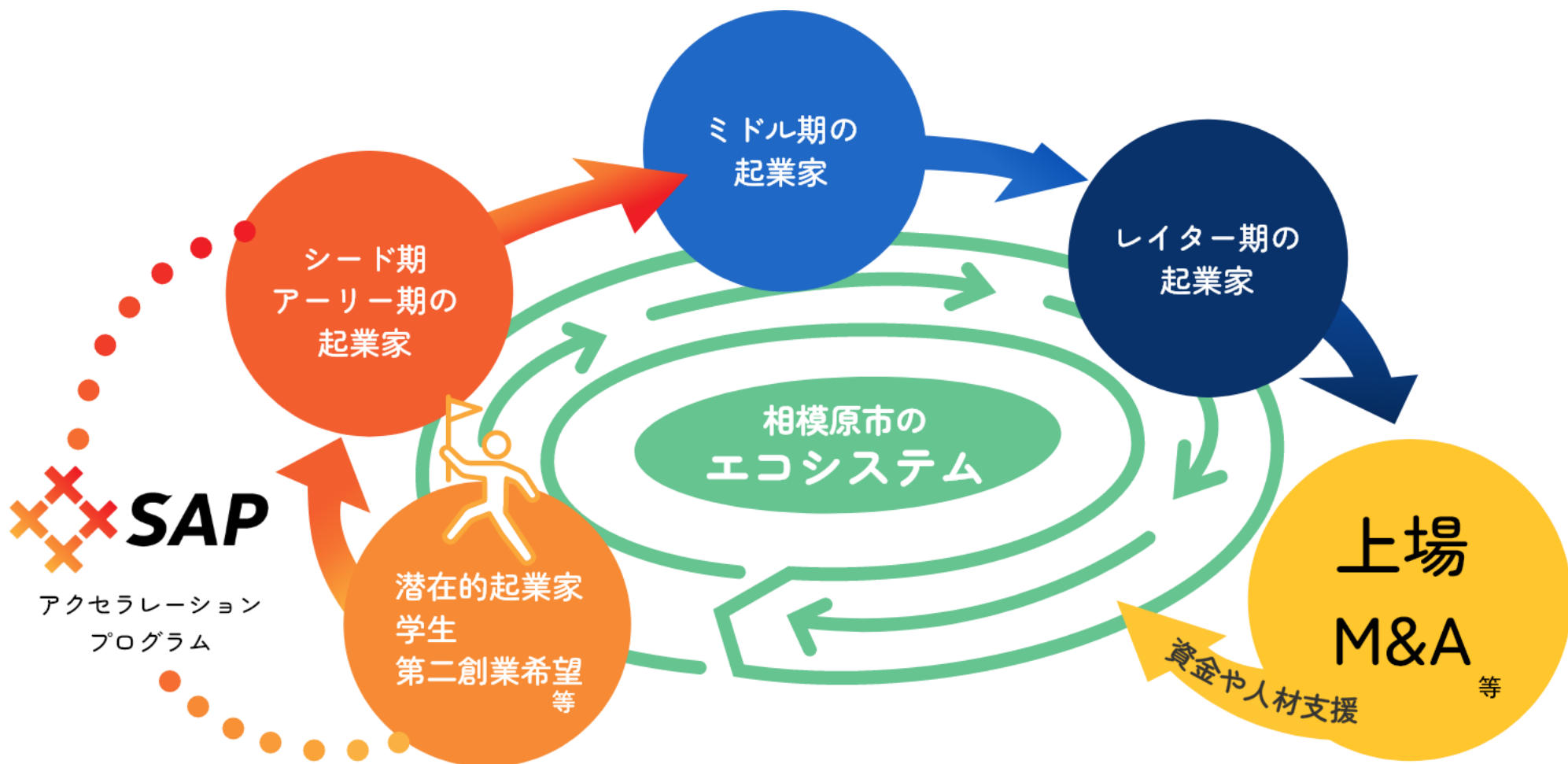


相模原アクセラレーションプログラム（SAP）のご説明



相模原アクセラレーションプログラム（SAP）では、相模原全体で起業家を育て、相模原版エコシステムを構築することを目的としております。

プログラムを通じて目指す姿





——“さがみはら”で出会い、あなたの事業を前へ、前へ——



SAP

Sagamihara Acceleration Program

2026

全国から起業家・スタートアップをお待ちしております！



SAP2026では市内外のスタートアップに対して、市内アセットとの連携やスタートアップのステージに応じた課題解決のための支援を提供いたします。



相模原市内だけでなく、市外からでも応募可



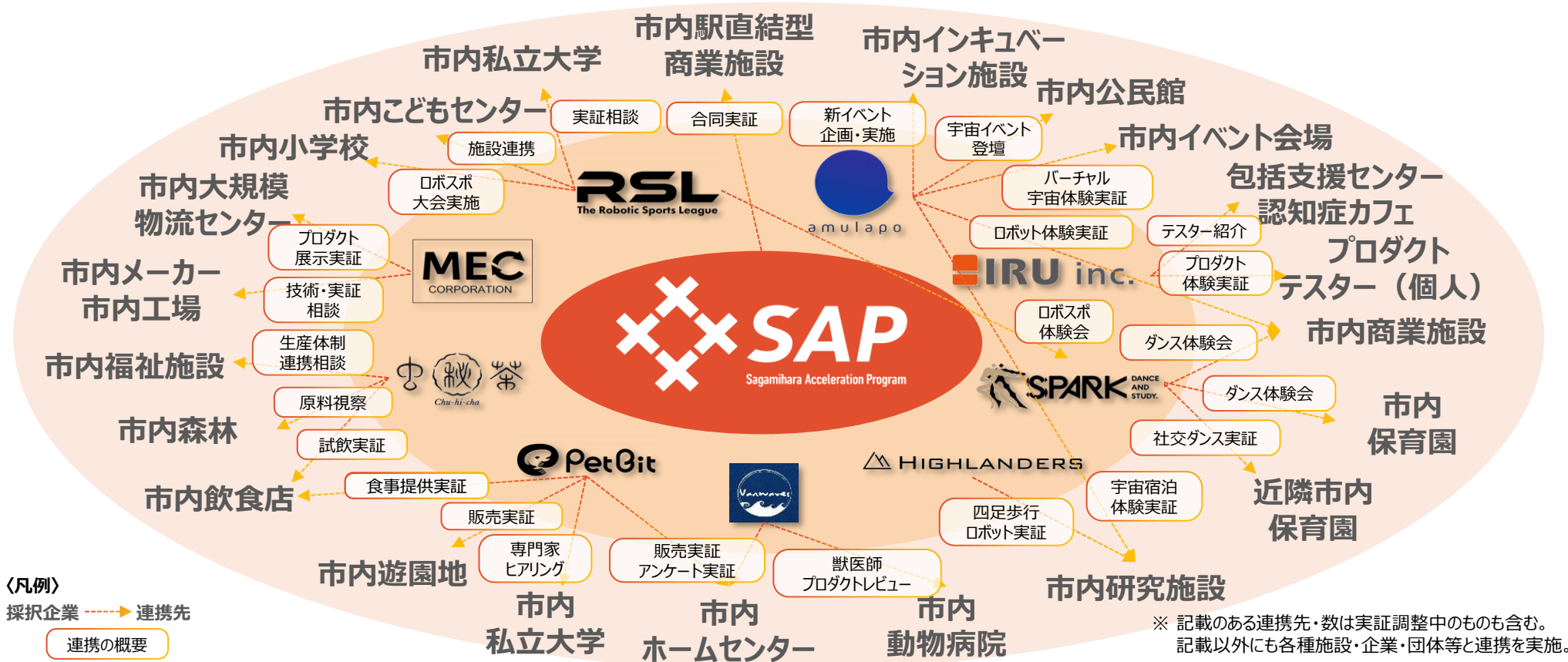
豊富な市内アセットと連携した事業成長支援



資金調達からネットワーキングまで、スタートアップのステージに応じた課題を解決する充実の支援



採択者数：9者 実証回数：25回
関係人口増加数：延べ約4,100人（32施設・企業等含む）





様々な市内アセットと連携した事業開発を行うことで、事業拡大・顧客獲得を狙います。

市内アセット例（実証フィールド）

さがみ湖MORI MORI



- ・ 概要
相模湖に隣接するテーマパーク
昨年度はキャンプ場等にて実証を実施
- ・ 想定される実証シーン
遊園地・温浴施設・宿泊施設・売店・ドッグラン等を活用した体験型実証

(株)小田急SCディベロップメント 相模大野ステーションスクエア



- ・ 概要
小田急沿線エリアにおける商業施設を開発・運営
- ・ 想定される実証のシーン
相模大野駅ビルコンコースにおける通行人巻き込み型合同実証

アリオ橋本



- ・ 概要
多くの市民が利用する大型商業施設
イベントが行えるスペースも充実
- ・ 想定される実証のシーン
イベントスペースにおけるお客様巻き込み型合同実証

カインズ 相模原愛川インター店



- ・ 概要
日用品、DIY用品、ペット用品など幅広い商品を取り揃える大型ホームセンター
- ・ 想定される実証のシーン
イベントスペースや常設の露店における顧客アンケートや販売実証

ALFALINK 相模原



- ・ 概要
日本最大級の最先端物流拠点
物流大手企業が多数入居
- ・ 想定される実証のシーン
庫内でのプロダクト試験利用型実証

JAXA相模原キャンパス 月面探査フィールド



- ・ 概要
太陽の活動や月・惑星、ブラックホール、銀河の成り立ちなど、宇宙に関する様々な事象を研究
- ・ 想定される実証のシーン
月面を模したフィールドでの実証

カヤバ株式会社 KAYABA OPEN LAB.



- ・ 概要
高度な技術と産学官の共創により、研究開発を推進するオープンイノベーション施設
- ・ 想定される実証のシーン
協働での技術開発や、製品開発

その他の市内アセット



- ・ 概要
相模原市内に存在する事業者や自然、人財等、あなたの事業に合ったアセット
- ・ 想定される実証のシーン
市内事業者と協働した商品開発
市内の自然を活用した商品開発



昨年度のプログラムでは市内アセットと連携した多種多様な個別実証を実施。

- 各SAP採択チームが、プログラム期間中、様々な市内アセットと連携した実証を実施



カインズ様での実証



サン・エールさがみはらでのバーチャル宇宙飛行士体験実証



アリオ橋本様での実証



ダンススクールでのロボットスポーツ体験



JAXA様での実証

スタートアップのステージに応じた課題を解決する充実の支援

相模大野ステーションスクエアにて実施した合同実証では、
多くの市民を巻き込み実証するとともに、市議会議員や市町との交流機会も提供。

詳細・応募はこちら



▲バーチャル宇宙体験実証 (amulapo)



▲虫秘茶試飲実証 (虫秘茶)



▲「さがみはらスタートアップまつり2026」全体の様子



▲ロボットスポーツ体験実証
(ロボットスポーツリーグ)

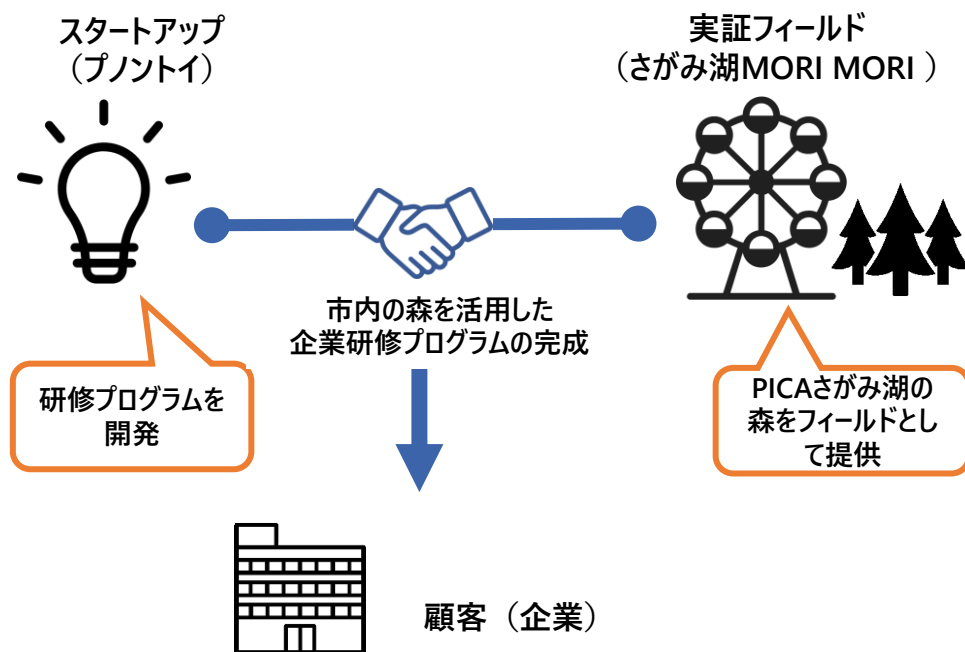


▲四足歩行ロボット歩行実証
(Highlanders)



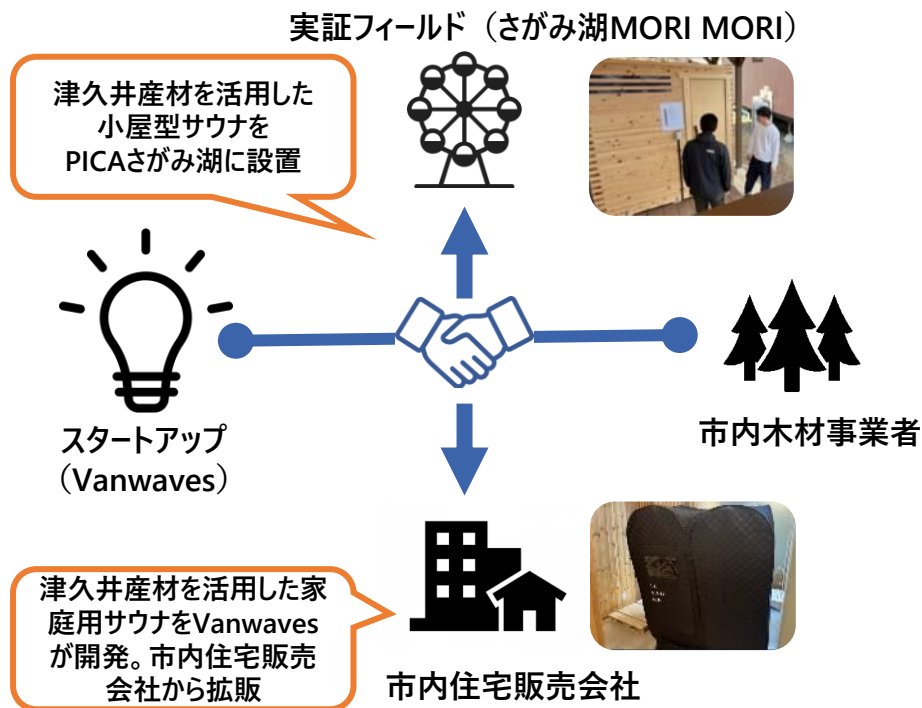
SAPでは、ビジネスモデル構築のメンタリングに加え、相模原市内の“繋がり”によって、実際に協業パートナーや顧客獲得を達成するまで伴走して支援。

事例① | プノントイによる企業研修プログラムの開発



相模原市内の森林フィールドに、市外企業・従業員を誘引し産業育成が促進

事例② | Vanwavesによる家庭用サウナの開発・販売



市の名産品を基盤とする商品の流通量が増大



過年度ではプログラム期間内でサウナのコンセプト設計・製作・プラン提供を実施しました。

過年度プログラム参加例

キックオフ

プレ提案会

実証準備

サウナ付きプラン
予約開始

宿泊期間
(3/4-3/17)



さがみ湖リゾート様への実証内容提案



予約ページ（PICAさがみ湖HP）



サウナ室（津久井産材を使用）



木材見学



サウナ室施工



テレビ取材

スタートアップのステージに応じた課題を解決する充実の支援

詳細・応募はこちら



昨年度のSAPイベント一覧（※今年度の実施内容とは異なる場合がございます。）

■ 資金調達からマーケティング、起業家同士の交流機会まで、幅広い課題に対応



キックオフ（10月）



マーケティング講座（11月）



実証フィールド提案会（11-2月）



ファイナンスミートアップ（1月）



SAPコミュニティデイ（2月）



成果報告会（3月）



昨年度イベント登壇・講演者一覧

- 各イベントでは、上場・M&A経験者を含む起業家・経営者等との交流機会も提供

マーケティング講座

一般財団法人SFCフォーラム 理事
廣川様



マクアケ 常務執行役員
松岡様



SAPコミュニティデイ

ツクルバ 共同創業者
中村様



プノントイ（SAP2024 採択企業）
吉成様



アルプス技研 創業者・最高顧問
松井様



日本政策金融公庫 厚木支店長
高橋様







応募方法のご案内



HPより応募書類をダウンロードし、記載の上、事務局に送付ください

応募のステップ

8/24(月)
締切

STEP1

●----- HPより応募書類(Excel)をダウンロード

相模原アクセラレーションプログラムHP：

<https://sogyo.city.sagamihara.kanagawa.jp/sagamihara-acceleration-program/>

STEP2

●----- 応募書類に必要事項を記入

1. 基本情報*
2. 応募情報
 - 基本情報*
 - 応募情報
 - プロフィール(本プログラムの主担当となる者を明記)/自己アピール(400字程度 + 適宜リンク)*
 - 貴社のサービス・事業概要(400字程度 + 適宜リンク) *
 - プログラムで実施したい内容 (800字程度 + 適宜リンク) *
3. 事業所設置・支店登記意向 ※補助金のご案内や、手続きのサポートのご案内をさせていただく可能性がございます
 - 将来的に相模原市に事業所設置や、支店登記をする意向はありますか (チェックボックス式) *
 - (あると回答した方のみ) 事業所設置・支店登記までの課題があればご記載ください(400字程度) *必須

STEP3

●----- 応募書類を運営事務局宛に、Excel形式でメールにて提出

運営事務局メールアドレス： acceleration-program-2026@nri.co.jp

※メールアドレスの件名は、「応募書類 (会社名)」としてください。

本年度募集期間は、8/24(月)までです！！ご応募お待ちしております。

詳細・応募はこちら↓



HP：[相模原アクセラレーションプログラム - さがみはら起業・創業サポートNavi](#)

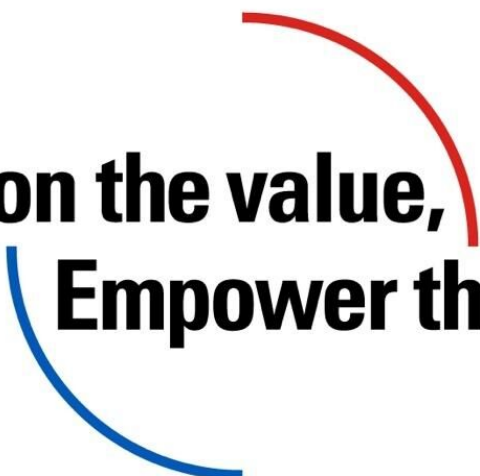
また、応募期間中は個別面談も実施しております。お気軽にご連絡ください！！

お問い合わせ（メール）はこちら↓

acceleration-program-2026@nri.co.jp



質疑応答



**Envision the value,
Empower the change**